



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,181	6.7	391	△3.4	412	△1.5	265	△5.6
30年3月期第2四半期	10,477	8.4	405	△2.5	418	△2.9	280	△1.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 248百万円(△15.0%) 30年3月期第2四半期 292百万円(△10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	29.81	—
30年3月期第2四半期	31.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,827	5,648	47.2
30年3月期	11,335	5,506	47.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,576百万円 30年3月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
31年3月期	—	0.00			
31年3月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	1.3	720	9.8	720	5.8	470	5.5	52.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	9,389,000株	30年3月期	9,389,000株
31年3月期2Q	491,246株	30年3月期	491,243株
31年3月期2Q	8,897,756株	30年3月期2Q	8,897,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成30年11月5日に、四半期決算説明資料「第70期(平成31年3月期)第2四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、夏場に相次いだ自然災害の影響はあったものの、企業活動においては内・外需共に底堅く、設備投資は東京五輪関連の建設投資、外国人観光客対応のホテル建設等を中心に回復基調が強まりました。

一方で、個人消費は雇用環境の改善が続いたものの、物価上昇による実質所得の伸び悩みを受け、緩やかな持ち直しにとどまりました。

海外経済においては、米国では個人消費は労働市場の回復による賃金上昇や、減税に伴う可処分所得の増加などが追い風となりました。欧州では景気は緩やかに回復しました。中国では、個人消費は堅調に推移しましたがインフラ投資の落ち込みが顕著となりました。

また、米国の保護主義台頭、米中貿易摩擦、原油高、Brexit等により先行き不透明が強まりました。

かかる環境下、当第2四半期連結累計期間における物流業界におきましては、米国および欧州からの輸入はおおむね横ばい、アジアからの輸入は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられました。

輸出に関してもこのところ持ち直しの動きに足踏みがみられました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物は増加、水産物および農産物は微増となりました。

また、鋼材国内物流の当社取扱いにおいては厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当企業集団は「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第6次中期経営計画「変化による進化」～Diversification～の2年目を迎え、その各施策一つひとつに取り組むとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期間比6.7%増の11,181,456千円となりました。一方経常利益は昨年度後半からの物流コスト増加の影響を受け、前年同期間比1.5%減の412,421千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比5.6%減の265,274千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

## [輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同期間比4.8%増の9,451,018千円となり、セグメント利益は前年同期間比1.1%増の839,204千円となりました。

## [鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、夏場に相次いだ自然災害の影響により営業収益は前年同期間比1.6%減の744,170千円となり、セグメント利益は前年同期間比18.5%減の27,548千円となりました。

## [その他事業]

その他事業は、連結子会社を増やしたことにより港湾運送収入が増加した結果、営業収益は前年同期間比40.9%増の986,266千円となったものの、セグメント利益は商品取扱のある子会社で棚卸資産の評価を見直した結果、前年同期間比13.1%減の69,236千円となりました。

## セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	9,020,977	86.1	9,451,018	84.5	430,041	4.8
鉄鋼物流事業	756,242	7.2	744,170	6.7	△12,071	△1.6
その他事業	699,985	6.7	986,266	8.8	286,281	40.9
合計	10,477,205	100.0	11,181,456	100.0	704,251	6.7

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第2四半期連結累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	3,929,940	43.6	4,165,957	44.1	236,017	6.0
水産物	1,497,413	16.6	1,604,417	17.0	107,003	7.1
農産物	1,238,506	13.7	1,311,439	13.9	72,933	5.9
その他	2,355,117	26.1	2,369,204	25.0	14,086	0.6
合計	9,020,977	100.0	9,451,018	100.0	430,041	4.8

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,827,947千円となり、前連結会計年度に比べ492,527千円増加いたしました。これは現金及び預金が90,448千円減少した一方、営業収益の増加に伴い受取手形及び営業未収入金240,129千円、流動資産・その他306,943千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

なお、流動資産・その他の増加は台風21号を起因とするコンテナの留置期間超過によるデマレージ等立替金によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,179,276千円となり、前連結会計年度に比べ350,806千円増加いたしました。これは支払手形及び営業未払金90,619千円、短期および長期借入金199,170千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,648,671千円となり、前連結会計年度に比べ141,720千円増加いたしました。これは利益剰余金が158,501千円増加したことが主な要因であります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較し88,348千円減少し、当第2四半期末には1,265,409千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は18,796千円となりました。（前年同四半期は144,605千円の増加）これは税金等調整前四半期純利益411,629千円、減価償却費112,637千円、仕入債務の増加額90,100千円があったものの、売上債権の増加額242,979千円、法人税等の支払額87,316千円および台風21号を起因とするコンテナの留置期間超過によるデマレージ等立替金が292,966千円増加したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は118,472千円となりました。（前年同四半期は171,995千円の減少）これは保険積立金の積立による支出37,449千円、無形固定資産の取得による支出29,392千円、投資有価証券の取得による支出53,721千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は51,822千円となりました。(前年同四半期は143,723千円の増加)これは配当金の支払額106,087千円があったものの、長期借入金が増加した199,130千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表した数値に変更はございません。今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,363,558	1,273,109
受取手形及び営業未収入金	3,261,635	3,501,765
たな卸資産	393,697	447,543
前払費用	123,613	127,409
その他	378,988	685,931
貸倒引当金	△28,050	△23,299
流動資産合計	5,493,443	6,012,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	546,987	514,937
機械装置及び運搬具(純額)	291,944	270,670
土地	2,282,394	2,282,394
リース資産(純額)	71,520	60,242
その他(純額)	36,878	29,493
有形固定資産合計	3,229,725	3,157,739
無形固定資産	386,483	366,346
投資その他の資産		
投資有価証券	750,661	798,680
破産更生債権等	10,254	9,954
繰延税金資産	365,540	370,036
その他	1,139,606	1,152,713
貸倒引当金	△40,294	△39,982
投資その他の資産合計	2,225,768	2,291,401
固定資産合計	5,841,976	5,815,487
資産合計	11,335,420	11,827,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,583,328	1,673,947
短期借入金	572,888	649,008
未払法人税等	107,316	168,085
賞与引当金	258,330	265,272
その他	552,963	571,441
流動負債合計	3,074,827	3,327,754
固定負債		
長期借入金	1,337,681	1,460,732
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
役員退職慰労引当金	7,296	7,467
退職給付に係る負債	1,025,016	1,024,335
長期未払金	93,651	77,160
その他	128,733	120,562
固定負債合計	2,753,641	2,851,521
負債合計	5,828,469	6,179,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	609,280	609,280
利益剰余金	3,875,607	4,034,108
自己株式	△194,136	△194,138
株主資本合計	5,146,801	5,305,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,613	139,370
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	25,364	16,775
退職給付に係る調整累計額	62,872	59,262
その他の包括利益累計額合計	288,138	271,697
非支配株主持分	72,011	71,673
純資産合計	5,506,950	5,648,671
負債純資産合計	11,335,420	11,827,947



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業収益	10,477,205	11,181,456
営業原価	8,193,052	8,886,583
営業総利益	2,284,152	2,294,872
販売費及び一般管理費	1,878,893	1,903,376
営業利益	405,259	391,496
営業外収益		
受取利息	2,936	1,526
受取配当金	10,059	11,253
複合金融商品評価益	4,527	—
受取保険金	3,886	10,678
その他	6,562	10,862
営業外収益合計	27,971	34,320
営業外費用		
支払利息	11,300	9,933
複合金融商品評価損	—	1,333
その他	3,141	2,127
営業外費用合計	14,441	13,394
経常利益	418,790	412,421
特別利益		
固定資産売却益	1,998	1,500
段階取得に係る差益	3,250	—
投資有価証券売却益	510	—
特別利益合計	5,758	1,500
特別損失		
固定資産除却損	—	2,292
ゴルフ会員権評価損	2,300	—
特別損失合計	2,300	2,292
税金等調整前四半期純利益	422,248	411,629
法人税、住民税及び事業税	135,743	146,228
法人税等調整額	5,583	△2,747
法人税等合計	141,327	143,480
四半期純利益	280,921	268,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,874
親会社株主に帰属する四半期純利益	280,921	265,274

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	280,921	268,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,358	△4,242
為替換算調整勘定	△1,201	△11,794
退職給付に係る調整額	△1,762	△3,609
その他の包括利益合計	11,394	△19,647
四半期包括利益	292,316	248,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,316	248,833
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△331

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	422,248	411,629
減価償却費	93,330	112,637
のれん償却額	4,908	10,122
ゴルフ会員権評価損	2,300	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△3,250	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39,936	△5,062
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,683	△5,564
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	273	171
受取利息及び受取配当金	△12,995	△12,780
支払利息	11,300	9,933
為替差損益(△は益)	1,159	343
複合金融商品評価損益(△は益)	△4,527	1,333
投資有価証券売却損益(△は益)	△510	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,998	△1,500
有形固定資産除却損	158	2,292
売上債権の増減額(△は増加)	△280,781	△242,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,889	△53,846
関税等立替金の増減額(△は増加)	18,540	△292,966
仕入債務の増減額(△は減少)	43,393	90,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,036	△8,333
その他	17,694	49,148
小計	266,773	64,680
利息及び配当金の受取額	12,995	12,520
利息の支払額	△11,488	△8,680
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△123,674	△87,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,605	△18,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,000	△2,700
定期預金の払戻による収入	7,200	4,800
関係会社株式の取得による支出	△7,696	—
保険積立金の積立による支出	△37,584	△37,449
保険積立金の解約による収入	5,159	16,063
有形固定資産の取得による支出	△11,213	△19,276
有形固定資産の売却による収入	2,000	1,500
無形固定資産の取得による支出	△20,000	△29,392
投資有価証券の取得による支出	△3,660	△53,721
投資有価証券の売却による収入	1,749	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△101,044	—
貸付けによる支出	△4,400	△4,300
貸付金の回収による収入	6,516	5,743
その他	△2,020	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,995	△118,472

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△350,000
長期借入れによる収入	650,000	490,000
長期借入金の返済による支出	△447,660	△290,869
自己株式の取得による支出	—	△1
リース債務の返済による支出	△20,289	△19,507
割賦債務の返済による支出	—	△21,711
配当金の支払額	△88,327	△106,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,723	51,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△493	△2,902
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,840	△88,348
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,599	1,353,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,546,439	1,265,409

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,020,977	756,242	699,985	10,477,205	—	10,477,205
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	11,485	75,458	86,943	△86,943	—
計	9,020,977	767,727	775,443	10,564,148	△86,943	10,477,205
セグメント利益	830,059	33,794	79,676	943,529	△538,270	405,259

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用538,270千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に丸田運輸倉庫株式会社、当第2四半期連結会計期間にEver Glory Logistics Pet. Ltd.、それぞれの株式取得に伴い2社を連結の範囲に含めております。

これに伴う調整額の項目ののれんの増加額は当第2四半期連結累計期間において99,787千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	9,451,018	744,170	986,266	11,181,456	—	11,181,456
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	11,833	73,852	85,685	△85,685	—
計	9,451,018	756,004	1,060,118	11,267,141	△85,685	11,181,456
セグメント利益	839,204	27,548	69,236	935,988	△544,492	391,496

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用544,492千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。